

一般質問



岩本 議員

○災害時の避難所になる小・中学校の体育館へのエアコン設置について

質 災害列島と呼ばれる日本、今年の夏はとりわけ深刻です。災害はいつ起こるかわかりません。地方自治体は住民の福祉と命を守ることが最優先の使命であると思いますし、私自身も人命は最優先に守られるべきと考えています。最大震度7を記録した熊本地震、その被害からの復興もままならない中、各地で起きた豪雨災害、温暖化で命に関わるような酷暑も全国的に広がっています。避難所となる志佐中学校体育館へのエアコン設置について見解を伺います。

市長 学校の屋内運動場（体育館）については、児童生徒の学習の場、学校生活の場だけでなく、災害時の避難所に指定されることから、安全性と快適性を備えた環境整備を図る必要があると認識しています。空調の整備には、既存の補助制度を最大限に活用しながら整備を進める必要がある一方で、多額の費用がかかるため、基礎自治体の努力のみでは対応が困難であり、補助対象の拡充や補助率の引上げなど、より実効性の

高い支援制度の構築を国に強く要望したいと考えています。また、今回の熊本地震のような災害が起きた場合には、志佐中学校の体育館が仮に使用できなくても、現状で使用できる空調設備が整備された施設を有効に活用し、適宜対応していくことは当然だと考えています。例えば、文化会館ふれあいホールは空調が整備されているため、万一の場合はそこを活用したいと考えています。

質 熊本地震や千葉豪雨などの災害を教訓に、空調設備整備臨時特例交付金を活用し、指定緊急避難所の小中学校体育館で、まず、高台にある志佐中学校体育館へのエアコン設置を検討できないか伺います。

市長 現時点において、補助制度の拡充等を国にしっかりと訴えていくことが重要だと考えています。現在整備を進めている志佐小学校の体育館は低地で浸水想定区域であるため、大雨の際の避難所としては適切ではないと考えますが、空調設備の整備を検討しています。万一の場合は、避難所として、学校の一般教室等を活用しながら対応を考えており、今後は順次、学校体育館への整備を進めたいと考えています。

このほか、「JCHO松浦中央病院の現状及び医師の確保について」を質問しました。

一般質問



川下 議員

○松浦市小・中学校適正配置基本計画住民説明会での意見を踏まえた市の今後の対応について

質 住民説明会では、住民の方から「説明会は今回で終わりではないか」との確認があり、市は「随時開催する」と回答されました。説明会以後のスケジュールも含めて、今後どのようなタイミングで継続的な説明会を開催していくのか、また住民の声の反映と今後のプロセスについての考えを伺います。

学校教育課長 今回の説明会では概要を説明しました。今後は、小学校の行事に合わせて小学生の保護者対象の説明会と意見交換会を行います。行事に合わせられない小学校については、地域の施設で同様の説明会を行います。

その後、パブリックコメントを行います。その間も合意形成が図られるよう、説明会の開催が必要と考えられる地域や要望がある地域には出向いて説明や意見交換を行います。

パブリックコメントを受けて、市民からの意見を考慮し、教育委員会の承認を得て、松浦市小・中学校適正配置基本計画を策定します。

その後、策定した内容について、小学校区に向いて説明を行います。**質** 住民説明会では、「本土部4校を一気に統合するのではなく、御厨地域と志佐地域の中学校2校体制にできないか」との意見がありました。このような市民の声やパブリックコメント等で寄せられた意見によって、今回の本土部4校統合案を見直す可能性はあるのか伺います。

教育長 本市において児童生徒数が減少する中、これから総合的な整備を図る観点から、望ましい教育環境について検討委員会に諮問し、答申をいただき、その答申を基に、特に中学校では1学年複数クラスの確保を目標とし、再編を教育委員会で検討し、第2次松浦市小・中学校適正配置基本計画（案）を策定し、住民説明会を行いました。

現状では、適正な規模とされる中学校における本土部1学年複数クラス確保の目標を見直す考えはありません。また、本土部4校統合を実現しないと児童生徒にとっての望ましい教育環境を達成できないと考え、4校統合についても見直す考えはありません。